

# 《ADHDと高機能自閉症等について》

情緒障害教育研究部室長

花 輪 敏 男

## ※ はじめに

軽度発達障害の困難性

## ※ こんな子がクラスにいませんか？

→ ADHDの可能性

→ 高機能自閉症の可能性

## ※ ADHD（注意欠陥多動性障害）について

不注意・多動・衝動性

合併しやすい障害

LD、反抗挑戦性障害、行為障害

薬物療法について

## ※ 高機能自閉症について

社会性の障害・コミュニケーションの障害・こだわりの強さ

過敏性

## 教育の目標

ソーシャルスキルの獲得

就労の準備

教科ばかりを評価しないこと

アスペルガー症候群について

## ※ 学校としての取り組み

気づき・二次障害の防止・多層的な支援体制・理解啓発

## 実態把握

存在の認識

教育的診断

チェックリスト等の利用

同級生との関係

得意なこと・できかかっていること

## セルフエスティームの育成

## 具体的な対応

刺激の調整  
指示の工夫  
見通しをもつこと  
視覚的なものの利用  
「徹底すること」  
目標の設定

## 多層的な支援体制

通常の学級における「特別な配慮」  
T T方式・少人数によるグループ学習・オープン教室・個別の指導  
特殊学級・通級指導教室における専門的な対応  
地域の資源を利用した、より専門的な対応

## 理解啓発

### 連 携

家庭 障害を認めない保護者と熱心すぎる保護者  
教育機関・医療機関・福祉機関  
親の会・民間機関・N P O・ボランティア  
あらゆる資源を有効に活用  
情報の把握 学校の主体性

## ※ おわりに

教育こそ最大の治療なり